

# 電子リソース管理データベース (ERDB) プロトタイプ構築プロジェクト概要について

国立情報学研究所 学術基盤推進部 学術コンテンツ課  
特任技術専門員 田邊 稔

オープンハウス2012  
2012年6月8日

# ERDB構築事業

ERDBとは、電子リソース(電子ジャーナル, 電子ブック等)の書誌情報と契約情報を一元的に管理した日本国内の大学図書館等で入手可能な電子リソースの総合目録

## 目的

### 図書館の管理業務支援

図書館での電子リソース管理に必要なデータの共有を図り、業務の標準化を実現することによりコスト削減を図る。

### 利用者の情報アクセス支援

電子および紙の学術情報に利用者をより迅速かつ的確にナビゲートする。

## 課題

- ① 図書館における電子リソースの管理業務の標準化・効率化。
- ② 国内の契約情報の共有化。
- ③ 利用者のアクセス環境の改善。

## 事業概要

### ① ERDBの構築とデータ共有

- ・国内外の電子リソースの書誌・契約・利用条件・利用統計等のデータを集約するERDBを構築

### ② 大学図書館の業務支援

- ・ERDBと各種管理業務ツールとのインターフェイスを提供
- ・ERDBに蓄積されたデータを管理業務で活用

### ③ 利用者のアクセス支援

- ・ERDBに蓄積されたデータをCiNii, 図書館OPAC, A-Zリスト, リンクリゾルバ等で利用
- ・NACSIS-CATとの横断検索を提供

## 期待される効果

### 情報アクセス支援

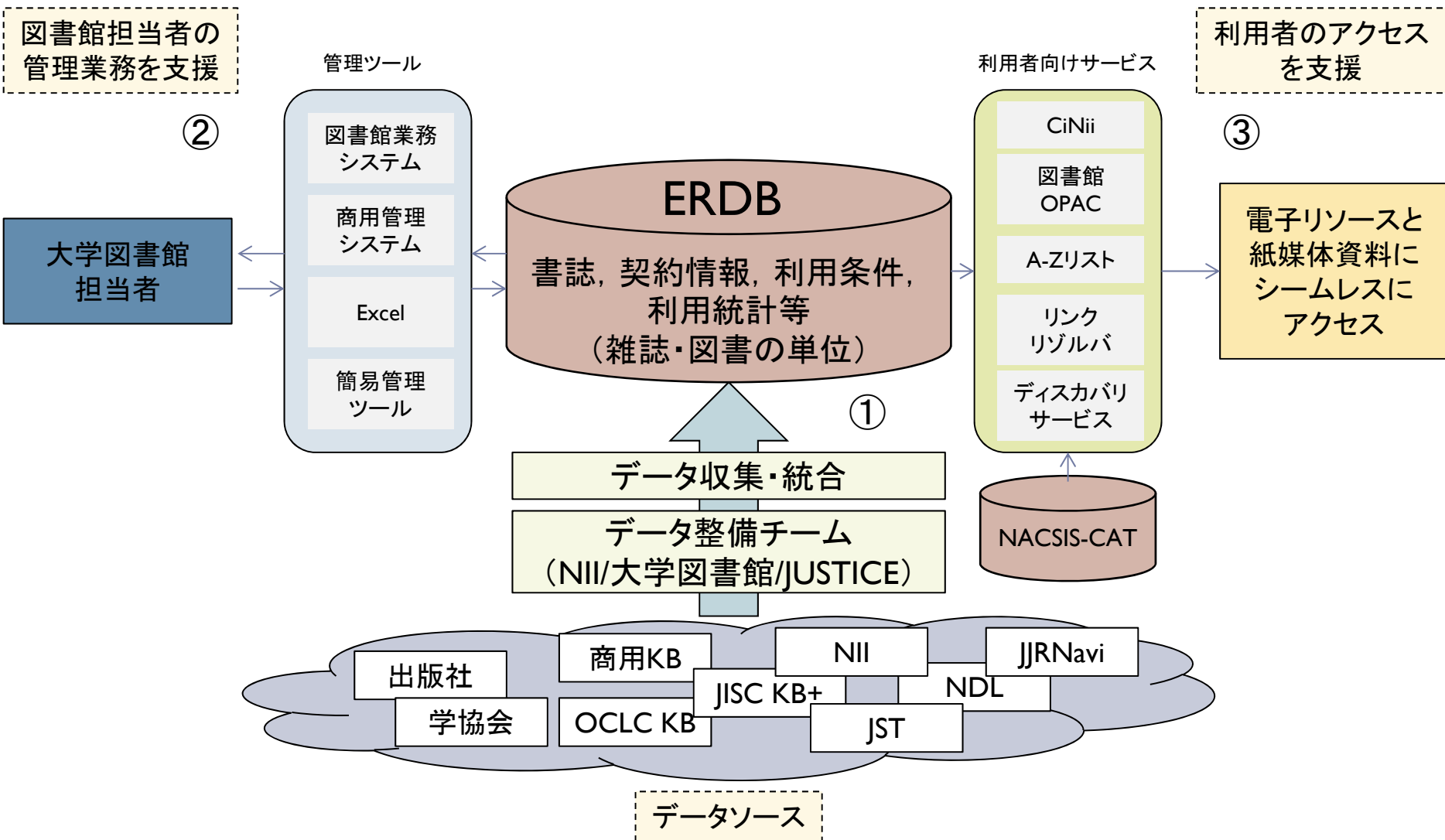
- ① 電子と紙の学術情報へのアクセスの改善。
- ② 検索から本文への適切なナビゲーション。

### 管理業務支援

- ① 図書館の契約管理業務のコスト削減。
- ② 利用実態の把握による効率的な購入タイトルの選定。
- ③ 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)での価格交渉力強化。

大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー(平成22年12月)  
大学図書館には、多様な学術情報への的確で効率的なアクセスを確保することが求められている。

# ERDBを中心とした電子リソースの管理と提供（概念図）



# 平成24年度ERDBプロトタイプ構築プロジェクトの概要

---

## ▶ 目的

- ▶ ERDBプロトタイプの構築とその検証を通じて、ERDB開発に必要な情報を収集する
  - × 特定の商品のトライアルではない
  - × ERMSを作るプロジェクトでもない

## ▶ 実施体制

- ▶ 国立情報学研究所(NII)
  - ▶ 開発, サーバ管理, 課題整理, 連絡調整
- ▶ JUSTICE
  - ▶ コンソーシアムデータの収集, 統計データの分析
- ▶ 参加図書館(12機関)
  - ▶ データの提供, システムの利用・検証

## ▶ 主な検証のポイント

- ▶ ナレッジベースのデータの質の検証
- ▶ DBスキーマ・データマッピングの検証
- ▶ ローダーの名寄せの精度の検証
- ▶ 一元的なデータ整備の可能性
- ▶ コストの見積り

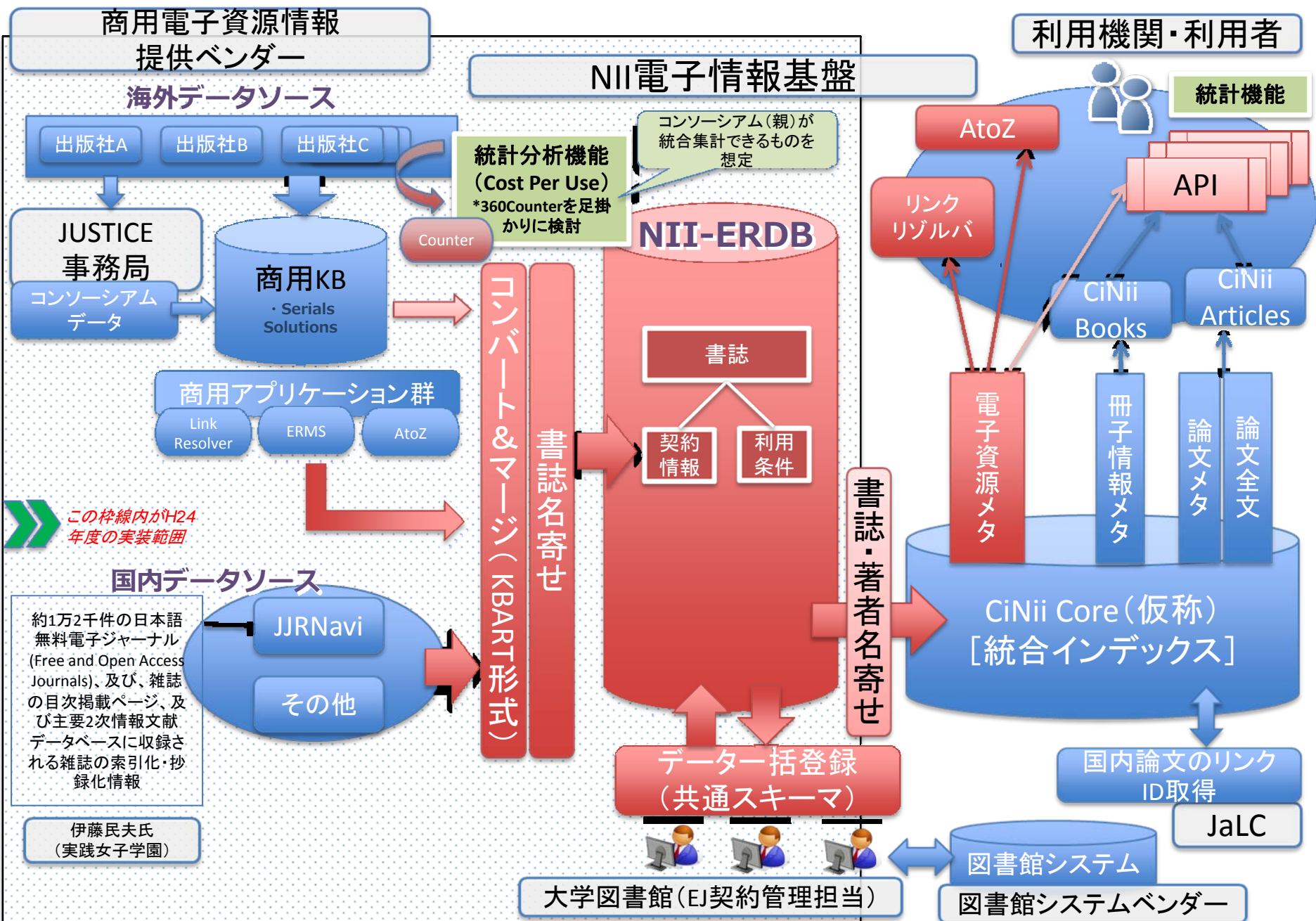
## ▶ NIIとしての2012年度の目標

- ▶ 上記の検証結果をとりまとめ、次年度以降の**事業計画を作成し事業化すること!**

# 平成24年度ERDBプロトタイプ構築プロジェクトのスケジュール

	NII側の事業	大学の協力する作業
平成24年3月	大学図書館への協力依頼	
平成24年4月	プロトタイプ開発着手	大学図書館の電子リソース契約データの提供
平成24年5月	キックオフミーティング	
平成24年5～7月	プロトタイプのアルファ版開発(7月中旬頃)	情報共有ツール、ミーリング・リストによる意見交換(仕様検討)
平成24年8～9月	中間ミーティング	
平成24年8～12月	改善、UI作成	情報共有ツール、ミーリング・リストによる意見交換(プロトタイプの検証)
平成24年12月	最終ミーティング	
平成25年1月	プロジェクトまとめ・評価	

# 平成24年度ERDBプロトタイプ実装概念図



# まとめ

- ▶ 電子リソースの管理と有効活用を図るためにはERDBが不可欠
- ▶ 大学図書館と連携・協力の枠組みにより実現
- ▶ ERDBプロトタイプ構築プロジェクトは、これからの学術情報システムの基盤を作る息の長い活動の最初の一步



図書館の「サグラダ・ファミリア計画」